

ひろか

だより

第372号

令和5年7月21日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

TEL 0172-27-5511

弘果

トレサビセンターよりお知らせ

受付期間 R5 7/20(木)~10/31(火)
 受付場所 弘果・津軽市場トレサビセンター
 受付時間 午前8時~午後5時
 休市日は休業。ただし、8/30(金)、9/6(金)、9/13(金)は営業。
 お問い合わせ ☎ 0172 (29) 4184
 ※トレサビセンター
 混雑状況も配信予定→



つがりあめん アムさん

食味良く前年並の入荷で順調な取引

当社オリジナルブランド「つがりあめん」の「アムさん」の入荷が、7月上旬から中旬にかけてピークを迎えました。今年産は肥大期において天候に恵まれたこともあり、順調な入荷となりました。販売においては、各種値上げの影響から、取引が低迷していた時期もありましたが、ギフト需要等で徐々に荷動きが活発化しました。当社の取扱いは(7月15日までの累計)は数量14万キ(前年比99.8%)、平均単価1キあたり655円(同92.8%)と、前年並の入荷となり、高単価で推移した昨年には及ばないものの、順調な取引となりました。アムさんの入荷は7月下旬頃までの予定で、今後もつがりあめんメロンの入荷が続きます。

木造地区 生産者憩いの集い

西瓜やメロンの生産者が交流や親睦を深めることを目的とした「生産者憩いの集い」が7月4日、弘果菰槌集荷所特設会場において開催されました。当日は特設会場に約200人が来場し、当社葛西静男社長の挨拶、青森オリジナルメロン生産連絡協議会の渋谷谷会長の挨拶に続き、同協議会浜山浩文副会長の首頭で乾杯が行われました。

賑わう会場内の様子



夏本番を前に、西瓜・メロン等の収穫・出荷作業が本格化し、忙しい時期を迎える生産者にしばしの「憩い」の時間を楽しんでもらおうと会場では、大鍋で煮込んだモツ鍋、豚のサガリや焼きそばなどが振舞われ、南部民謡と手踊りの「青森うぐいす姉妹」による歌謡ショーを満喫し、最後は豪華景品が当たる大抽選会で盛り上がりました。



アムさんメロンに舌鼓を打つ来場者

客が香りに誘われて、試食会場を訪れては舌鼓を打ち、メロンを買い求めていました。試食した買い物客からは「今まで食べたメロンの中でも一番の甘さが際立つ」「とにかく美味しいので、おかわりしました。もちろん買ってまた楽しみたいです」との声がありました。また、今回の試食販売に同行した同協議会青年部の工藤幹康部長は「目の前で美味しい」と言ってお食べていただく姿を見ると、励みとなり、生産意欲が湧きます。生産者として最前線の販売現場を体感できたことは良い経験となりました」と話していました。

アムさんメロンをPR

仙台で販促活動

青森オリジナルメロン生産連絡協議会と当社では7月1日と2日、アムさんメロンの更なる認知度向上と販促促進を目的に、仙台市の青果物専門店「いたがき」のエスパル店と仙台三越店において試食販売を行いました。試食販売が行われた店内では、アムさんメロン特有の甘い香りが漂い、買い物客が香りに誘われて、試食会場を訪れては舌鼓を打ち、メロンを買い求めていました。試食した買い物客からは「今まで食べたメロンの中でも一番の甘さが際立つ」「とにかく美味しいので、おかわりしました。もちろん買ってまた楽しみたいです」との声がありました。また、今回の試食販売に同行した同協議会青年部の工藤幹康部長は「目の前で美味しい」と言ってお食べていただく姿を見ると、励みとなり、生産意欲が湧きます。生産者として最前線の販売現場を体感できたことは良い経験となりました」と話していました。



創立50周年を迎え式辞を述べる森山会長



葛西万博新会長

また、先に行われた定時総会では、任期満了に伴う役員改選が行われました。会長 葛西 万博(新任) 副会長 北山 和彦(再任) 副会長 三上 秀治(新任)

弘果りんご買参人共進会(森山博幸会長) 創立50周年を記念して6月27日、アイトホテル弘前シティにおいて、会員、関係者約100名が出席し、式典が開催されました。同会は、会員相互の親睦融和を基盤とし、市場とのりんご取引の適正なる売買を期し、青森県りんご産業の流通発展を遂行することを目的に設立されました。現在、80事業所が加入し、活動を行っています。式典では、関係団体への感謝状の贈呈、大量買受会員が表彰され、続いて森山会長が「変動の激しい業界の中にありながらも、本会が順調に目的を達成してきたことは、皆様のお力添えと努力の賜物です。これからも業界を取り巻く難関が数多くありますが、対処していくため、業界あげて連携し、取り組んでいきます」と挨拶。その後来賓祝辞、祝賀会へと続き、会場は祝賀ムードに包まれ、節目の年を祝いました。

つがりあめん

選果機利用受付中

糖度測定を行うことにより「つがりあめん」ブランド強化を図り、有利販売に繋がります。
 (品種) 中生種、晩生種
 ※その他品種についてはご相談ください。
 (選果料) 1箱250円(税別)
 ※中コンテナ1箱あたり(申込みについて) 詳細は当社果実部まで

見直し摘果の徹底で高品質なりんご生産

令和5年産りんごの生育状況は、3月の気温が高めに推移したことから、主力品種のふじで平年より12日、昨年よりも5日早い4月25日に開花しました。開花期の降霜による中心果の欠損、低温、強風による不受精(カラマツ)が見られました。側果対応により十分な結実量は確保できた一方で、霜害の影響からシブ、サビなど品質の低下が懸念されています。7月15日に行われた肥大調査の結果、開花が早かったことと適度な降雨があったことなどから、調査したすべての品種で大玉傾向であった前年を上回っており、順調に生育しています。高品質りんごを生産するためには、適正着果量を守ることが大切になります。摘果作業が終盤を迎えています。今一度見落としや成らせ過ぎがないか、見直しを行うようにお願い致します。今年も「適正着果」「適期収穫」に努め、高品質で美味しいりんごを生産しましょう。

令和5年産
りんご開市
 8月1日(火)
 弘果弘前中央青果
 午前8時30分
 津軽りんご市場
 午前8時30分
 多数のご来場を
 お待ちしております

「農」の「業」を継ぐ

期待の後継者



井上 勇太さん (45)
 園地所在地 鱈ヶ沢町建石
 作付状況 りんご・1.5畝

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【就農年】 2021年
 【きっかけ】 長らく「橋梁(きょうりょう)とび」として、全国各地の高速道路の橋や鉄塔ダムなどの土木工事現場で従事していました。そんな中、高齢の父の病気をきっかけとして、りんご農家の高齢化や後継者不足問題が正に実家であって、その現状を知りました。「このまま

【現在】 「ゼロからのスタート」より「マイナスからのスタート」と言っても過言ではなく、本当に何もわからないまま始めたので、最初はとても苦労しました。りんご農家の仕事は多岐に渡り、各分野において、相応の知識や経験が必要となりますが、積極的に農業と向き合い、日々の仕事一つ一つから得るものが多く、充実しています。

【座右の銘】 「稼ぐに追いつく貧乏なし」常に精を出して一生懸命働けば、貧乏に苦しむことはないとの意味であり、亡き祖父が常に語ってきた言葉です。私は発展的に、自分の公私におけるライフスタイルに何が足りないのかを見極め、ポイントを定めた上で取り組み、知恵と工夫で乗り越えて行けば、生活に困ることはないと思っています。

ではないけない」と思う反面、現在の仕事や生活基盤との兼ね合いもあり、葛藤した日々が続きましたが、両親を助けて一緒に仕事を行い、家業を盛り立てていきたいという覚悟を持って就農を決定しました。

【座石の銘】 「稼ぐに追いつく貧乏なし」常に精を出して一生懸命働けば、貧乏に苦しむことはないとの意味であり、亡き祖父が常に語ってきた言葉です。私は発展的に、自分の公私におけるライフスタイルに何が足りないのかを見極め、ポイントを定めた上で取り組み、知恵と工夫で乗り越えて行けば、生活に困ることはないと思っています。

問い合わせ先: 0172-27-5511 担当: 小川・楠美・奈良

アルバイト荷受	勤務時間	【人数】	期間	時給
	4時～7時	[3名]	9/1～11/30	950円
	8時～20時までの6～8時間程度 時間帯は応相談	[35名]	9/1～11/30	900円
りんご集荷場	10時～18時	[8名]	9/1～11/30	920円

短期臨時職員	職種	勤務時間	【人数】	期間	日給
短期臨時職員	夜勤	17時～翌8時 (22時～翌5時 休憩)	[3名]	9/1～12/27	8,000円
	リフト	7時30分～16時30分	[20名]	9/1～12/16	8,400円
	組み方	7時30分～16時30分	[8名]	9/1～11/30	8,400円
	搬出	7時30分～16時30分	[7名]	9/1～11/30	8,000円
	荷下ろしサービス隊	9時～18時	[12名]	9/1～12/15	8,400円

※短期臨時職員は3ヶ月出勤率90%以上で手当支給あり

弘果 短期スタッフ 大募集中!

津軽りんご市場

職種	勤務時間	【人数】	賃金	備考
即売選果兼荷受作業	8時～17時	[3名]	時給 1,000円	社会保険加入
荷捌・組方・荷下ろし作業	7時～16時	[各5名]	日給 8,400円	3ヶ月継続勤務かつ出勤率90%以上で手当支給
荷受(朝)	5～8時または5～9時 までの3時間程度	[2名]	時給 950円	3～4時間パート 時間帯は応相談
荷受(フルタイム・パート)	8時～20時までの6～8時間程度	[計8名]	時給 900円	時間帯は応相談 パートは週30時間程度
荷受(夕方)	15時～21時までの3～5時間程度	[2名]	時給 900円	3～5時間パート 時間帯は応相談

問い合わせ先: 0172-72-1211 担当: 花田

「ハローキティ森のバナナ」寄付金贈呈式を行い、2022年度売上金の一部にあたる8万5592円を、NPO法人白神山地を守る会(永井雄人代表)に寄付しました。

「ハローキティ森のバナナ」は、平成19年11月より世界自然遺産白神山地の環境保全活動に役立ててほしいという願いから、青森県内の量販店で販売しており、売上金額

寄付金贈呈



永井代表(左)に寄付金を手渡す成田常務



バナナの植樹を行う当社職員

植樹に参加した貿易部小野伸也課長は「平成19年から始まった当社の取り組みが、世界遺産である白神山地の保全活動に役立っていることを実感しました。趣旨に賛同し、バナナを買っていた消費者の皆様へ深く感謝いたします」と感慨深く話していました。



の一部(1パック1円)を寄付しています。同日は、青果部門担当員の成田和雄常務が永井代表に寄付金目録を手渡ししました。永井代表は「白神山地は今年世界遺産登録30周年を迎えます。この寄付金を活かしてバナナの苗の管理費や植林事業に大切に使用させていただきます」と話していました。

植樹フェスタ 当社職員参加

当社が販売する「ハローキティ森のバナナ」の売上の一部は、白神山地の保全に役立てられています。その活動の一環として、鱈ヶ沢町黒森地区の国有林で6月25日、NPO法人白神山地を守る会を中心とした実行委員会が主催する「白神山

地バナナ植樹フェスタ in 赤石川」に当社貿易部職員3名が参加しました。このイベントは、バナナの森の復元、再生を目的に行われました。各地からのボランティアや学生ら約80名が参加し、苗木80本の植樹を行い、バナナの森の未来に願いを込めました。

弘前花き 花育活動 体験学習会開催

弘前花きでは、「青森県花のくにづくり協議会」の花育体験、園芸体験の一環として、花をもっと身近に感じてもらうと様々な場所で花の体験学習を開催しています。

弘前市立城東小学校では6月24日、親子レクとしてフラワーアレンジメント体験を行いました。参加した5年生の親子は「ひまわ



アレンジメントを楽しむ親子

り(ニアンスリウム)ニアルストロメリア」などの花を受け取ると、花の取り扱いについて説明を受けてからアレンジメントを楽しんでいました。

講師を務めた尾崎晴江さんは「今回は花のアレンジだけでなく、「ニューサイラン」という植物をホチキスで留めてそれぞれ好きな形を作ってもらいました。アレンジメントを



小回りが利く「草刈り」 多様なアタッチメントで作業性・経済性抜群

弘前物流の担当者は「当社はマキタの特約店であり、同社の製品は何でも揃います。是非とも効率的な農作業にお役立てください」と話していました。



(株)弘果物流 0172-27-1800

弘果物流では、肥料や資材等、営農に必要なアイテムを多数販売しています。その販売する商品の中で最も注目されている、総合電動工具メーカー「マキタ」のスパリットモーターと多様なアタッチメントは、その使い勝手の良さから、畑で大活躍しています。



高所作業に役立つ「高枝チェンソー」